

「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗」

大沢市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

大沢市民センターが担当する大沢中学校校区は、大沢地域と川前地域があり、それぞれの連合町内会が独自に活動を行っていることから、相互交流を進めることが課題となっています。

平成25年度の市民企画会議「大沢&川前・地域交流ネット」で、地域交流促進のための講座として、宮城県を含む様々な地方であげられてきた凧“するめ天旗”を活用した凧作りと凧あげが企画されました。現在は大沢・川前両地域の住民で構成される「大沢・川前地域交流ネット あがれ！天旗実行委員会」と市民センターが協働で事業を実施しており、令和4年度には10回目を迎えます。



2 今年度の活動



例年、凧づくり講座、凧あげ・交流会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で交流会は中止となりました。

また、対面で凧の作り方を教えることも難しくなったため、凧の材料と説明書をセットにした凧作製キットを配布し、凧の作り方をまとめたYouTube動画を作成し、それを見ながら各家庭で凧作りを行えるようにしました。令和4年1月16日には、作製した凧を持ち寄り、凧あげを

実施しました。当日は大人48人、子ども40人の計88人が参加しました。なかなか良い風が吹かない中、それぞれ自分達で作った凧をあげようと奮闘し、凧あげを楽しんでいました。また、今年は実行委員会で6個の凧が連なった小さい連凧を作り、参加者にも連凧あげに挑戦してもらいました。

3 成果と課題

実行委員会は大沢・川前両地域の住民で構成されており、両地域の交流促進のために活動し、地域づくりを担う人材の発掘に繋がっています。また、実行委員会が企画した凧作りと凧あげも、回数を重ねるにつれ両地域の交流の場として地域に密着した事業となってきました。

今後の課題として、本講座も9年目を迎え、実行委員会のメンバーが高齢化してきていることから、事業を継続して行く場合、若い世代が様々な形で参加できるような仕掛けが必要であると考えます。



4 今後の展望



「あがれ！天旗」の凧あげによる交流は、老若男女が楽しめる、地域密着型のとても良い講座になっています。今後は、凧あげ当日のボランティアなどの形で地域の中学生や、小中学生の保護者世代など、若い世代の事業への参画者を増やし、次の世代の担い手を育成することで、今後も大沢・川前地域の交流をより活性化できる講座を継続していきたいと考えています。